

## 議事3 現在実施の追加的な環境調査

### ①10月、11月渡り鳥類調査結果および有識者ヒアリング結果

# 3. 1 鳥類調査(10月、11月渡り鳥調査結果)

## ①調査概要

### 【目的】

風力発電事業におけるバードストライク等の影響を考慮し、10月調査では調査対象地域周辺の夏鳥(サシバ、ハチクマ、ノスリ等)の渡去状況を、11月調査では調査対象地域周辺の冬鳥(ハクチョウ・ガン・カモ等)の渡来状況を把握することを目的としている。

### 【調査日】

令和3年10月4日～5日 5:00～17:30

令和3年11月1日～2日 6:00～16:30



令和3年11月2日撮影(Aエリア)

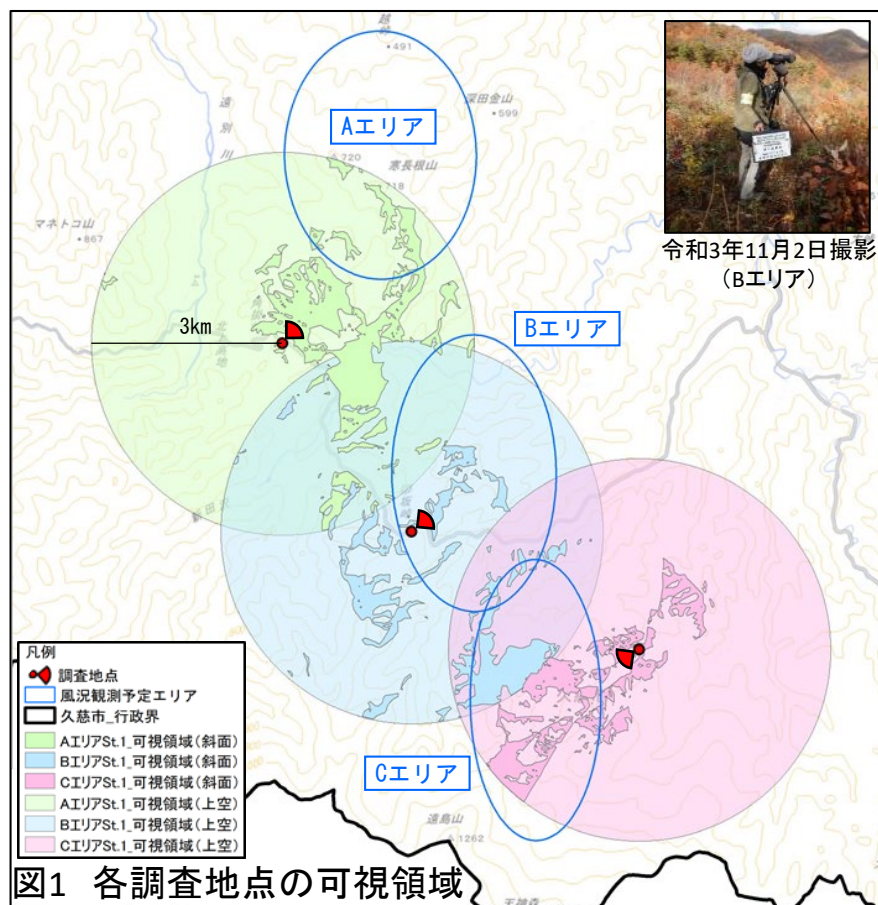


令和3年11月2日撮影(Bエリア)



令和3年11月1日撮影(Cエリア)

写真1 視野状況



令和3年11月2日撮影(Bエリア)

# 3. 1 鳥類調査(10月、11月渡り鳥調査結果)

## ②調査結果

調査の結果、10月調査では3目7科13種、11月調査では2目5科12種、計3目8科18種の渡り鳥を確認した。

表2 渡り鳥確認種一覧

No.	目名	科名	種名	学名	文献	渡り	10月				11月				選定基準					
							A	B	C	計	A	B	C	計	I	II	III	IV	V	
1	アマツバメ	アマツバメ	アマツバメ	<i>Apus pacificus kurodae</i>	○	○	○	○	○	○										
2	タカ	タカ	トビ	<i>Milvus migrans lineatus</i>	○		○			○										
3			オジロワシ	<i>Haliaeetus albicilla albicilla</i>	○	○						○	○	天	国内	VU	A			
4			ツミ	<i>Accipiter gularis gularis</i>	○	○		○	○			○	○						C	
5			ハイタカ	<i>Accipiter nisus nisosimilis</i>	○	○	○	○	○	○	○	○	○						NT	C
-			ハイタカ属の一種	<i>Accipiter sp.</i>	○		○			○										
6			オオタカ	<i>Accipiter gentilis fujiiyamae</i>	○							○	○						NT	B
7			ノスリ	<i>Buteo buteo japonicus</i>	○		○					○	○							D
8			クマタカ	<i>Nisaetus nipalensis orientalis</i>	○		○		○	○	○	○	○			国内	EN	A		
9	ハヤブサ	ハヤブサ	ハヤブサ	<i>Falco peregrinus japonensis</i>	○		○								国内	VU	A			
10	スズメ	ツバメ	イワツバメ	<i>Delichon dasypus dasypus</i>	○	○		○	○											
11		ヒヨドリ	ヒヨドリ	<i>Hypsipetes amaurotis amaurotis</i>	○	○	○		○			○	○							
12		ヒタキ	クロツグミ	<i>Turdus cardis</i>	○	○	○													
13			マミチャジナイ	<i>Turdus obscurus</i>	○	○	○					○	○							
14			シロハラ	<i>Turdus pallidus</i>	○	○						○	○							
15			ツグミ	<i>Turdus naumanni eunomus</i>	○	○						○	○							
16			ノビタキ	<i>Saxicola torquatus stejnegeri</i>	○	○	○													C
-			ヒタキ科の一種	Muscicapidae sp.	○	○		○			○	○	○							
17		セキレイ	ピンズイ	<i>Anthus hodgsoni hodgsoni</i>	○	○	○													
18		アトリ	アトリ	<i>Fringilla montifringilla</i>	○	○	○				○	○	○							
19			マヒワ	<i>Carduelis spinus</i>	○	○	○				○	○	○							
20			ベニマシコ	<i>Uragus sibiricus sanguinolentus</i>	○	○						○	○							
21			イスカ	<i>Loxia curvirostra japonica</i>	○	○	○					○	○							D
22			イカル	<i>Eophona personata personata</i>	○	○			○	○										
-			アトリ科の一種	Fringillidae sp.	○	○	○				○	○	○							
23		ホオジロ	カシラダカ	<i>Emberiza rustica latifascia</i>	○	○					○	○	○							
-			ホオジロ科の一種	Emberizidae sp.	○	○						○	○							
合計	4目	9科		23種	23種	18種	14種	5種	7種	17種	7種	13種	3種	16種	1種	3種	5種	9種	0種	

# 3. 1 鳥類調査(10月、11月渡り鳥調査結果)

## ②調査結果(渡り鳥)

10月調査では、アマツバメやツミ、ノビタキ等の夏鳥を確認したものの、サシバやハチクマの確認はなかった。

11月調査では、オジロワシやツグミ、イスカ等の冬鳥を確認したものの、ガン・カモ・ハクチョウ類の確認はなかった。

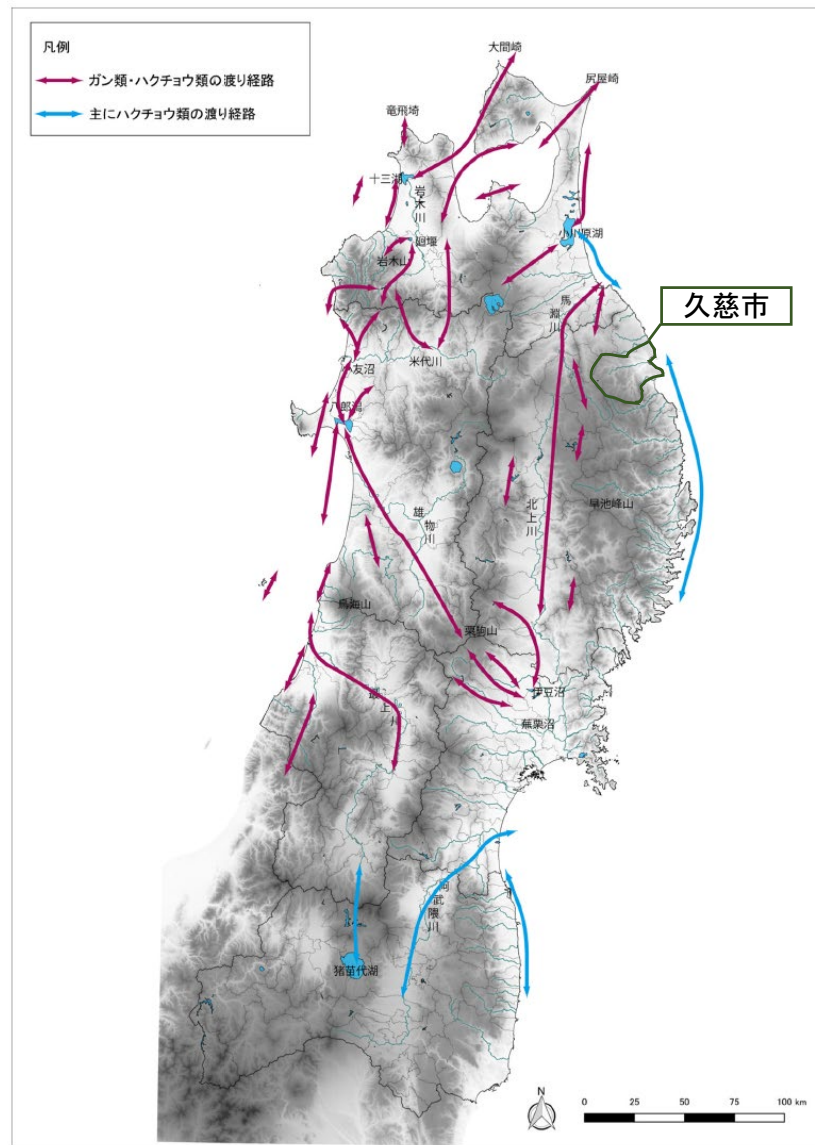
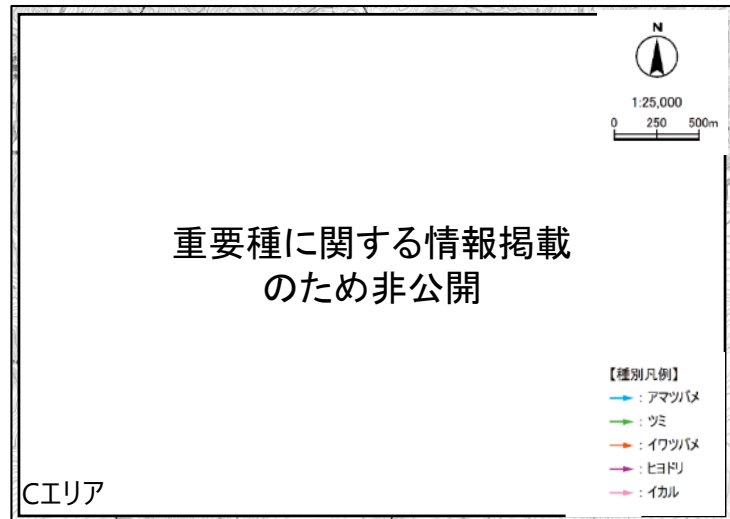
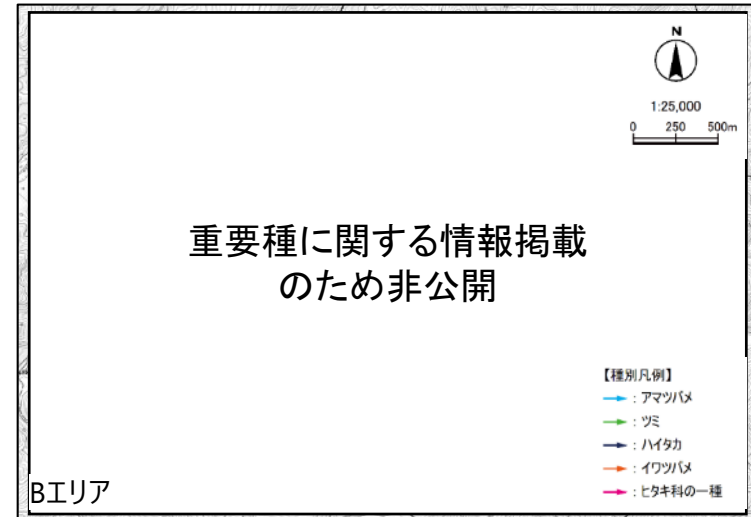


図 東北地方におけるハクチョウ類・ガン類の渡り状況  
(平成27年3月 環境省)

# 3. 1 鳥類調査(10月、11月渡り鳥調査結果)

## ②調査結果(渡り鳥確認位置図・10月)

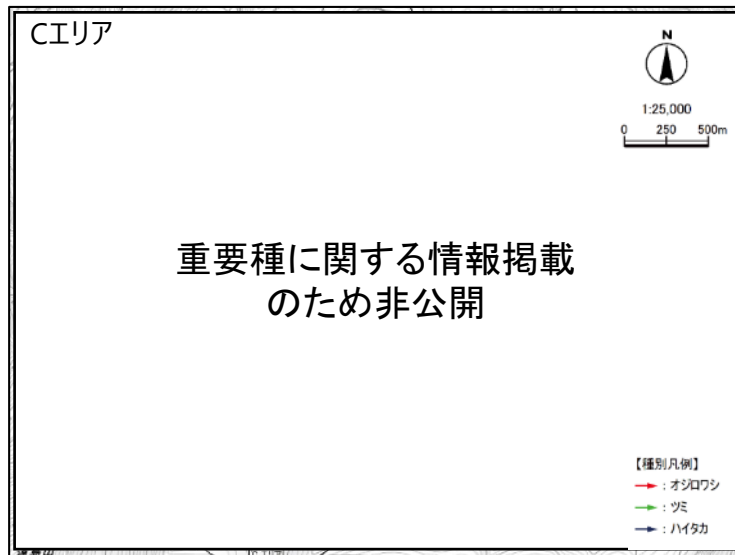
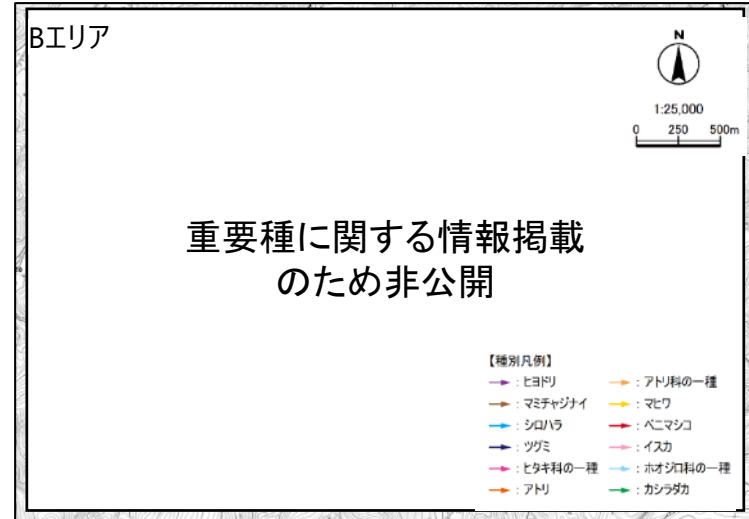
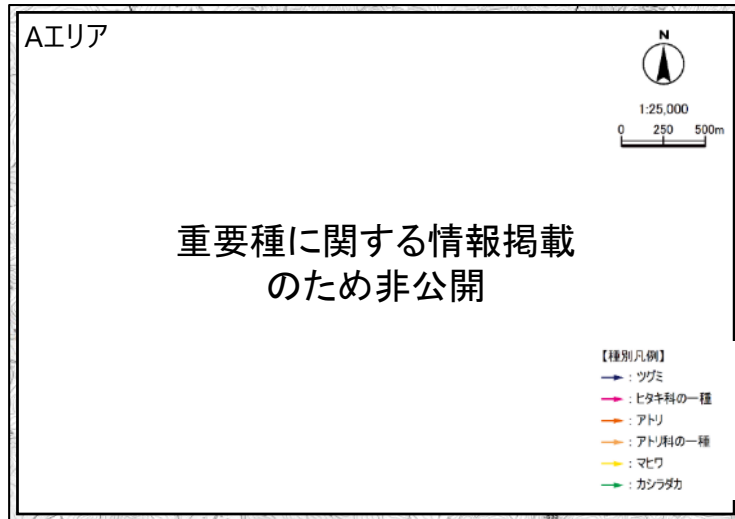


- 凡例
- : 風況観測予定エリア
  - : 定点調査地点
- 【飛翔凡例】
- : 飛翔軌跡
  - ⇒⇒ : 急降下
  - : とまり



# 3. 1 鳥類調査(10月、11月渡り鳥調査結果)

## ②調査結果(渡り鳥確認位置図・11月)



### 凡例

- : 風況観測予定エリア
- : 定点調査地点

### 【飛翔凡例】

- : 飛翔軌跡
- ⇒⇒ : 急降下
- : とまり



# 3. 1 鳥類調査(レーザーレンジファインダー)

## ③調査結果(レーザーレンジファインダー)

### 【概要】

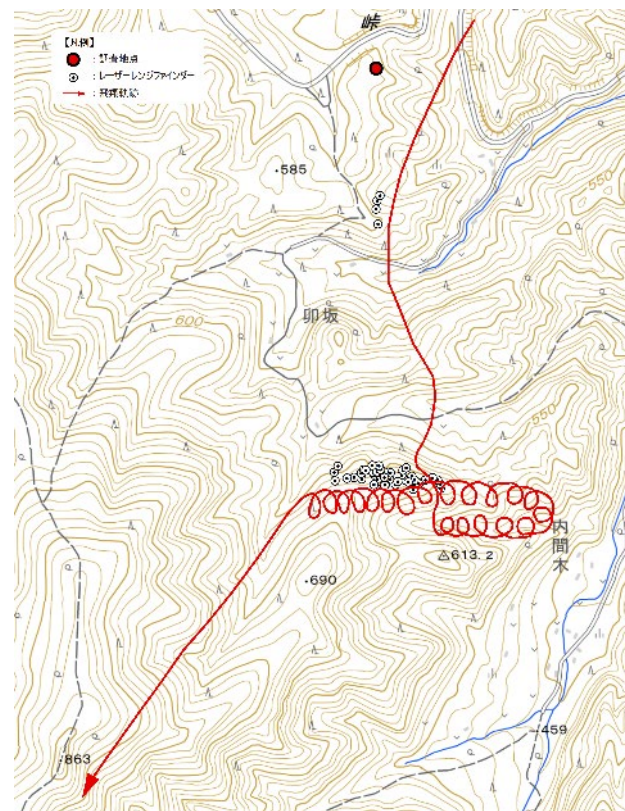
11月調査において、技術的補完としてレーザーレンジファインダーを使用し、調査を実施した。得られたデータと調査員が描いた飛翔軌跡を比較した。

### 【結果】

- ・目視での距離感がつかみにくい場合、正確な位置が記録されるため、調査精度の確保が期待できる。
- ・記録はリモコン操作であり、非常に簡単に記録できた。
- ・クマタカやトビ、カラス等の中・大型の鳥類を計測できた。



レーザーレンジファインダー



### 【使用上の注意点】

- ・飛形や斜面バック等の条件によっては近くでも記録ができない。
- ・レーザーレンジファインダーの使用中は飛翔個体を撮影できない。



# 3. 1 鳥類調査(今後の予定)

## ④次回以降の鳥類調査予定

時期	項目	設定
令和4年1月19日～21日	猛禽類	求愛期～造巢期
令和4年2月28日～3月1日※	渡り鳥	冬鳥の渡去期
令和4年3月7日～3月9日※	猛禽類	造巢期～抱卵期
令和4年5月	渡り鳥	夏鳥の渡来期
令和4年5～6月	猛禽類	抱卵期～巣内育雛期
令和4年7月	猛禽類	巣内育雛期～巣内育雛期・家族期
令和4年9月	猛禽類	イヌワシの非繁殖期

※業務期間外の調査である。

# 3. 1 鳥類調査(猛禽類確認種)

## ③調査結果(渡り鳥調査で確認された猛禽類位置図)

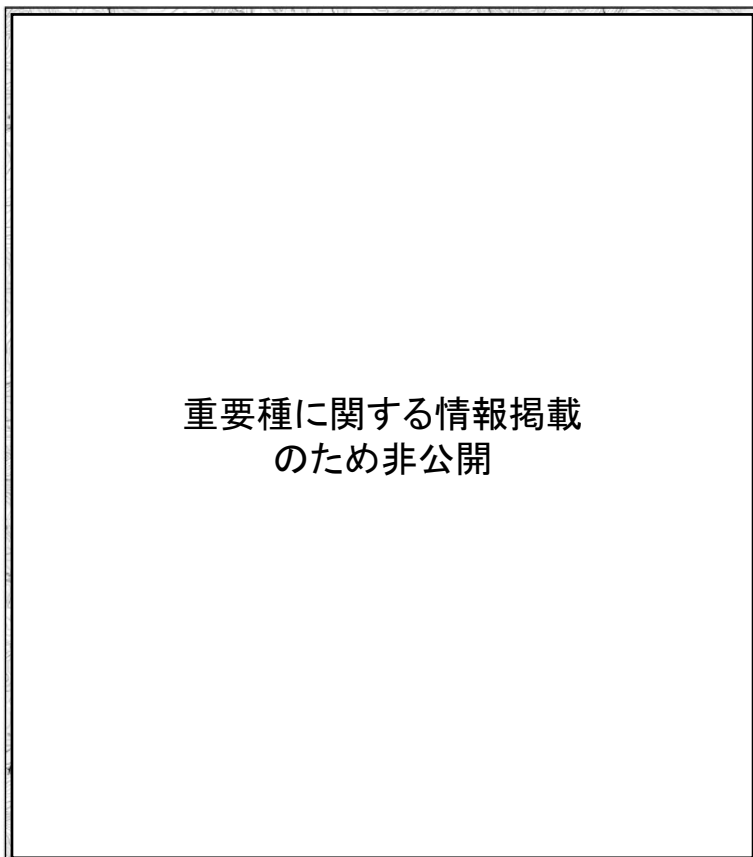


図3(1) 10月・11月渡り鳥調査 猛禽類確認位置図(Aエリア)

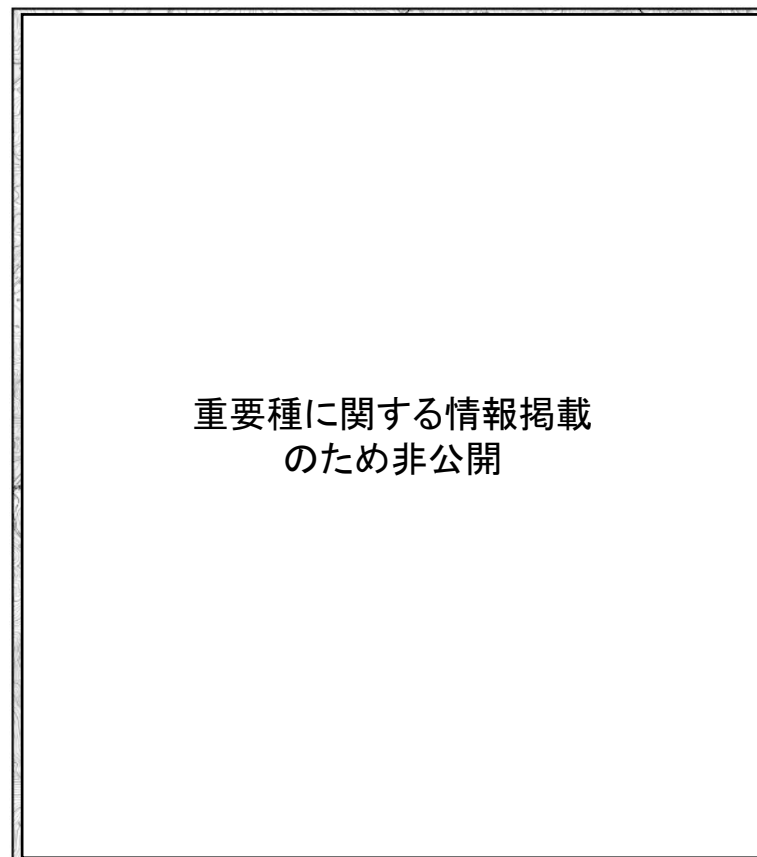
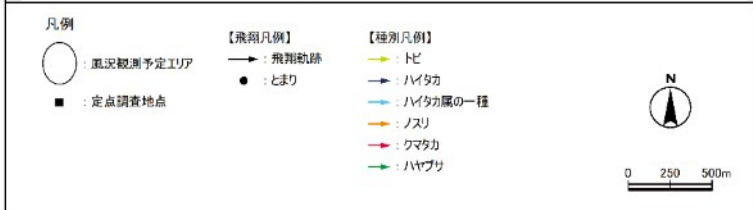


図3(2) 10月・11月渡り鳥調査 猛禽類確認位置図(Bエリア)



# 3. 1 鳥類調査(猛禽類確認種)

## ③調査結果(渡り鳥調査で確認された猛禽類位置図)

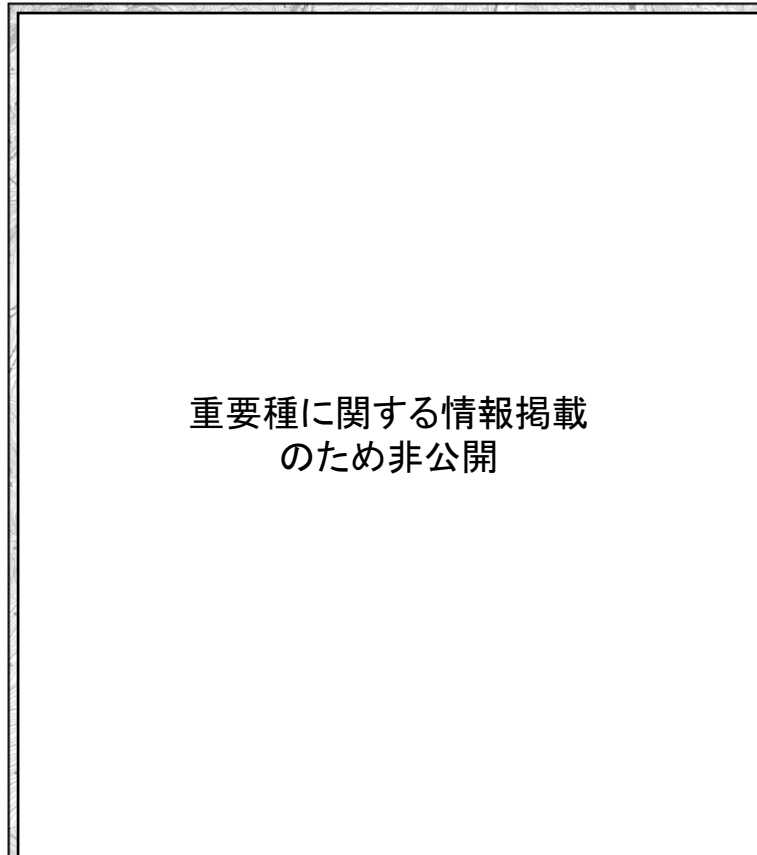


写真 確認個体(猛禽類)

図3(3) 10月・11月渡り鳥調査 猛禽類確認位置図(Cエリア)



## 3.2 有識者ヒアリング結果(鳥類)

### 【指摘No.13】

調査対象としている鳥類以外の地域として重要としている鳥類について、地元有識者へのヒアリングを行い調査へ反映してほしい。

→久慈市で特に注目されている種は聞いたことがないが、クマタカは重要種であり、久慈市内でも生息が確認されているため、注意して調査を実施するよう助言を頂いた。

### 【指摘No.14】

渡り鳥調査時期が十分か、ヒアリングで不足が無いか確認すること。

→本業務では計画の内容で問題ない。ただし、提言書等において、より詳細な調査を実施する旨を記載し、事業者へ引き継ぐことを共有した。

### 【指摘No.15】

イヌワシがいると想定した場合、釜石市で非繁殖期にバードストライクが発生しており、情報収集し把握する必要がある。幼鳥が行動域を広げる時期に調査を追加してはどうか。

→久慈市内で6ペア、周辺地域においても数ペア確認している。また、調査エリアから最も近いもので5km程であり、十分な調査が必要な地区が存在する。

→長距離(20~30km)を飛翔する非繁殖期(8~10月)も重要であり、釜石の例と同じ時期の9月頃に追加調査を実施する旨を伝え承頂いた。

### 【指摘No.16】

猛禽類の調査時間が8時~16時となっているが、8時より前に活動している可能性があるため、専門家にヒアリングをしてはどうか。

→調査時間については計画の内容で問題ないとの回答を頂いた。